

利用案内

INFORMATION

開館時間

午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

観覧料

展覧会によって異なりますので、お問い合わせください。

*中学生以下の方は無料です。

*20名以上の団体は2割引となります。

*各種障がい者手帳をご提示の方とその介護者1名は無料となります。

*「あしかが いきいきパスポート」をお持ちの方および両毛広域都市圏内にお住まいの65歳以上の方は無料です(住所・年齢を確認できるものをご提示ください)。

*毎月第3日曜日「家庭の日」は中学生以下のお子さまを同伴のご家族は無料です。(展覧会会期中)

*縹々プロジェクト永年オーナーおよび10年オーナーは無料、5年オーナーは団体料金となります(オーナー証をご提示ください)。

*足利市立美術館友の会の会員証をご提示の方は無料です。

足利市立美術館友の会

美術や美術館活動に興味を持つ方々が、互いに教養・親睦を深めつつ美術館事業を支援することを目的とする組織です。随時会員を募集しています。

交通案内

- 電 車 / JR両毛線「足利駅」下車(徒歩10分)
東武伊勢崎線「足利市駅」下車(徒歩10分)
- バ ス / 足利市生活路線バス「通二丁目」下車
- 車 / 北関東自動車道「足利I.C.」より15分
北関東自動車道「太田・桐生I.C.」より20分
東北自動車道「佐野・藤岡I.C.」より40分
- 駐車場 / 美術館前広場駐車場、美術館通り駐車場(徒歩1分)、
美術館駐車場(徒歩2分)、通二丁目観光駐車場(徒歩3分)、
太平記館観光駐車場(徒歩7分)



※中橋および周辺の道路(赤色で示した区間)は橋の架け替え工事のため、車両は通行止めとなります。歩行者、自転車のみ通行可能です。

足利市立美術館

〒326-0814 栃木県足利市通2丁目14-7
TEL.0284-43-3131 FAX.0284-43-3133



休館日

月曜日(祝日、振替休日を除く) 祝日の翌日(土・日曜日を除く)
年末年始 展示替え等のための休館日

2026(令和8年度) 足利市立美術館年間カレンダー

青字:土曜 赤字:日曜・祝日 網掛け:休館日 ○:家庭の日

2026年4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24/31	25	26	27	28	29	30

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23/30	24/31	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

12月							2025年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24/31	25	26	27	28	29	30

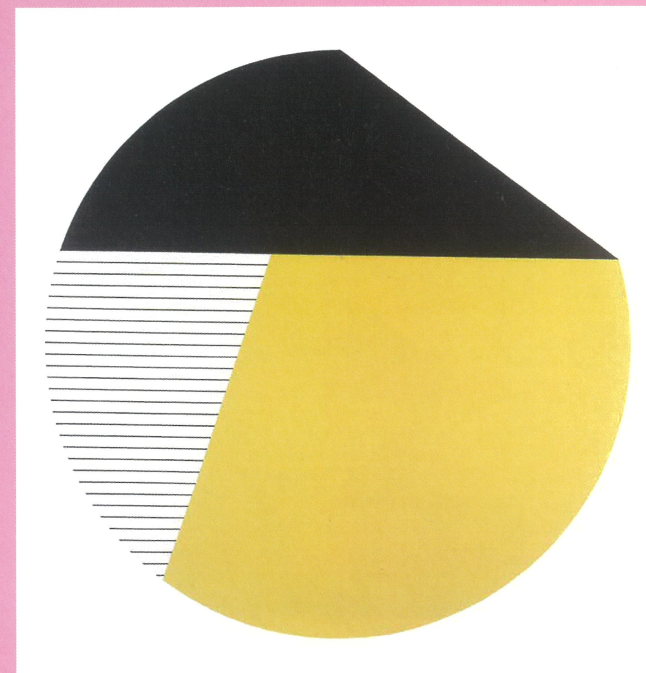
2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28							28	29	30	31			

*開館日に変更がある場合がございます。最新情報は、ホームページまたはお電話にてご確認ください。

Instagram | X(旧Twitter) | Facebook

足利市立美術館 展覧会スケジュール

Ashikaga Museum of Art EXHIBITION SCHEDULE 2026.4-2027.3



森光子「角と曲線」1998年 変形キャンパス・アクリル絵具 足利市立美術館蔵

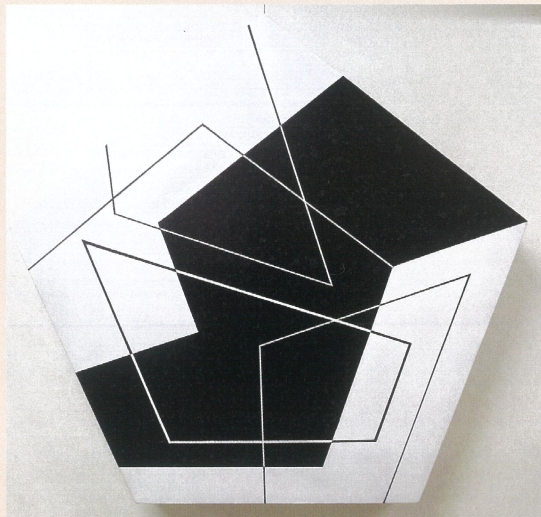
(「森光子展」より)

森光子展 幾何学風景

— Geometry Sight —

4月11日(土)～6月7日(日)

足利市で1944年に生まれ、東京藝術大学大学院を修了後に渡仏し、長年に渡ってパリを拠点に活動してきた森光子さんによる、日本で初の大規模個展です。1970年代から現在にかけてつくられた作品で構成される今回の展覧会では、色彩とかたちを追求し続けながら制作された絵画や版画作品などのほか、ネオン管を使用した作品も展示されます。森さんがたどった半世紀にわたる創作の軌跡をご覧ください。



森光子《白と黒の構成》1992、キャンバス・アクリル絵具 作家蔵

生誕100年

昭和を生きた画家 牧野邦夫

— その魂の召喚 —

6月20日(土)～8月23日(日)

昭和に改元される前年の大正14年に生まれ、昭和61年に没した牧野邦夫は、まさに「昭和という時代を生きた画家」でした。自身のめざす古典的な写実技法を突き詰めたため権威的な画壇とは無縁だった牧野の作品は、その多くは全国の熱心なコレクターより秘蔵されてきました。

本展は生誕100年を記念した展覧会です。牧野邦夫は、モダニズムなど眼中になく、終生レンブラントを敬愛し、ある意味愚直に描き続けた人でした。そんな彼の絵描き魂が召喚され、この令和の時代に、昭和の画家が甦ります。



牧野邦夫《海と戦さ(平家物語より)》
1975年 油彩・キャンバス 個人蔵

8人の写真家たち

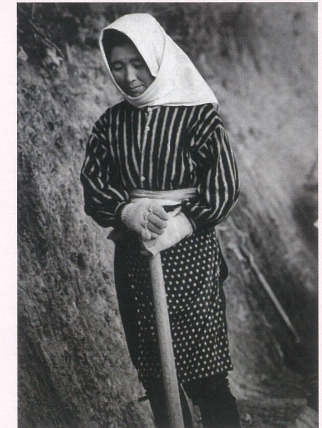
「船曳由美 小さなコレクション」 を核として

9月5日(土)～12月27日(日)

船曳由美氏は、長らく編集者として活躍し、足利・高松村に生まれた母の記憶をもとに『一〇〇年前の女の子』を著わしました。

この度、船曳氏より土門拳、石元泰博、園部澄、比嘉康雄、井上博道、江成常夫、みやこうせい、大村次郷8人の写真家の作品が当館に寄贈されました。そこには足利に対する思いの深さがあります。

本展は写真のみならず取材先で得た焼物、漆器、織物、木地玩具や写真家もたらしたアジア・東欧からの目を眩る民族独自の楽しい品々も展示されます。いわば、彼女が引き寄せた、「日本のふるさと」や遙かな異国への強い憧れを宿したものたちです。写真と「もの」が織りなす物語をお楽しみください。



石元泰博《男鹿半島のおんな》 1963年
©高知果, 石元泰博フォトセンター

2027年1月16日(土)～1月31日(日)

「足利市民文化財団所蔵品展」「足利市民文化祭優秀作品展」「第19回 足利展」

2月13日(土)～3月22日(月・振休)

アート普及啓発事業企画展